

「とちぎの子ども育成憲章」の実践

活動名	佐野かるたウォークラリー		
年月日	平成23年10月16日(日)	場所	佐野市こどもの国を発着とする佐野市街
参加者	佐野市内の小学生と保護者	人数	37名

関連する憲章の条文

- ・とちぎの豊かな自然 伝統 文化を守り 子どもたちに引き継ぎます
- ・子どもたちとともに 学び 喜び 励ましあい 社会の一員としての自覚を育てます

【佐野かるた】

佐野かるたは、昭和58年、佐野市誕生40周年を記念して市内小・中学校の児童生徒から、かるたの「ことば」と「え」を募集し、佐野市子供会育成会連絡協議会が製作にあたり、昭和59年12月に完成しました。佐野にある名所旧跡、歴史、年間行事、ゆかりの人物等が44枚のかるたに詠み込まれているので、郷土を知ることができます。平成17年の合併により葛生、田沼を含めた新しいかるたになりました。

毎年1月に「佐野かるたとり大会」を行います。各地区の予選会を勝ち抜いてきた子どもたちが、白熱した戦いを繰り広げています。

今年度の佐野かるたとり大会は、平成24年1月22日(日)です。



【佐野かるたウォークラリー】

平成21年、佐野かるたとウォークラリーを結び付けて、「佐野かるたウォークラリー」を考えました。かるたに詠まれた場所を、親子や友人・家族と一緒に訪ね歩き確認することで、楽しみながら郷土の文化を学べればと思い、また、佐野がより身近な存在になればと思い始めました。



【今年度の様子】

10組、37名がA、Bに分かれ約5kmのコースにある佐野かるたに詠まれた名所6箇所を25のコマ図をもとにたどりましました。

一般道路を歩くため、要所に安全確認ポイントを設け事故防止に努めました。10月とは思えない暑さの中、かるたウォークラリー部会の地区会長さんが見守り、連絡を取り合いながら通過確認を行いました。

チェックポイントには、大きなかるたがあり、ここがこのかるたの詠まれている地であることをアピールします。参加者全員がまずかるたを詠み、輪投げや球投げ、ゴム鉄砲などのゲームに挑戦し点数をもらいます。ゲームの企画・運営は、佐野市民間指導員会の協力を得て、中・高校生ボランティア「ここっとゆーす」が行いました。子どもも大人も楽しみながら約2時間かけてウォークラリーを行うことができました。



参加者の多くが、毎年かるたを見ているが現場には初めて来たと言っていました。佐野かるたウォークラリーの目的が達成されたことを実感しました。

以下はウォークラリーに参加した方の感想です。

- ・歴史にふれることが出来て勉強になった。
- ・かるたに詠まれているところがわかり楽しかった。
- ・いい汗かいた。
- ・お昼のおにぎりがおいしかった。
- ・来年もまたやりたい。

